令和７年度宇都宮大学共同利用拠点公募型実習–食農フィールド実践演習

実施要項

講座名称：「**食農フィールド実践演習**」

担当教員：長尾慶和、柏嵜勝、池田裕樹、高橋行継

対象学生：全国の大学生

応募要件：持続的な食と農に興味のある方

募集人員：20 名程度　コース（下記参照）ごとに変わります
※応募者多数の場合は、受講志望理由等により選考いたします。

実施時期：2025 年 9 月 1 日（月）～5 日(金)

集合時刻：①コース　③コース
2025 年 9 月 1 日 11 時（JR 宇都宮駅東口）
②コース
2025 年 9 月 1 日 11 時（JR 宇都宮駅東口）

実施場所：宇都宮大学農学部附属農場
栃木県真岡市下籠谷 443
TEL：0285-84-2424
FAX：0285-84-2425

内容・計画：宇都宮大学農学部附属農場は、栃木県真岡市の農村地帯に位置しています。総面積 101ha ほどの敷地内には、水田、普通畑、野菜畑、果樹園、施設園芸用の温室、飼料畑、放牧地などが広がり、このうち約 60ha を耕作地として利用しています。また乳用牛と肉用牛が約 30 頭ずつ飼養されています。附属農場は全国トップレベルの総面積と分野の多様さ、充実した実習内容とスタッフ、首都圏から 1 時間半ほどで来られるアクセスなどが高く評価され、2010 年度より全国の大学農場に先駆けて「教育関係共同利用拠点」に認定されました。それ以来、栄養分野、環境分野、教育分野あるいは医学分野など、首都圏を中心に様々な大学・学部と連

携して、農作物の栽培や収穫実習、乳牛の飼養管理や搾乳実習、収穫した生産物を活用した加工実習、実験室で行う生殖科学実験などを各大学の希望に応じて組み合わせ行ってきました。
これまでは、各所属大学の授業の一環として、学生を受け入れてきましたが、令和４年度からは、カリキュラム連携をしていない大学の学生にも、附属農場で学ぶ門戸を開けることを目的に、宇都宮大学の授業の一環として、全国の大学生に参加を呼びかけて実施する「公募型実習」を開講します。実習は、３つのコースによって３日、または５日間実施します。果樹収穫、水稲収穫と脱穀、農業機械の見学、果樹品質評価、ウシの飼養管理と搾乳、生殖科学実験などを行い、食料生産から流通までを学びます。

本年度の計画は以下の通りです。
① 家畜と生命の専科コース（2 泊 3 日、1 単位相当）
1 日目：酪農概論「ウシの泌乳の仕組み」、乳牛スキンシップ、給餌（PM）
2 日目：搾乳、和牛放牧、ヒツジ毛刈り（AM）繁殖学実習、乳製品加工（PM）
3 日目：搾乳、和牛放牧、生殖科学実験（AM）
② 農作物と食の専科コース（2 泊 3 日、1 単位相当）
1 日目：園芸生産の科学、農業機械システム学概論、果樹収穫・調整実習
農業機械操作実習（PM）
2 日目:青果物のフードシステムと流通の科学、宇都宮市中央卸売市場見学(AM)
作物生産の化学、水稲収穫・調整実習（PM）
3 日目：世界の地産地消と食文化、
農産物を活用した調理の実践と試食・評価（AM）
③ 食農総合コース（4 泊 5 日、2 単位相当）①コース+②コース
※最終日の 16:30 頃 JR 宇都宮駅東口にて解散予定です。
※天候により計画を一部変更することもあります。
※感染症拡大防止、台風、地震等のやむを得ない事情によって、実習中止もしくは日程変更になる可能性があります。

【講義】酪農概論
【実習】乳牛スキンシップ・給餌・搾乳
【担当】長尾慶和
【内容】動物を人間との距離で分類すると、「家畜」は人間に最も距離の近い存在です。「家畜」は人間のために生まれ、人間のために生き、人間のために死んでゆきます。そして我々人間は、家畜の生産する牛乳や卵、あるいは家畜そのものを様々な形で食べたり、生活必需

品として活用しながら生きています。にもかかわらず我々は、家畜のことをほとんど何も知りません。本実習では、家畜の中でも特に牛にスポットを当て、動物としての牛の一生について理解することを目的とします。次いで、家畜としての牛の特別な機能・能力について学びます。そのうえで、牛たちが快適に暮らし、自らの持つ特別な能力を余すことなく発揮し、その家畜としての寿命をまっとうさせることのできる飼養管理技術や繁殖システムなどについて、理解を深め体験的に学びます。

【講義】作物生産の科学
【実習】水稲収穫・調製実習
【担当】高橋 行継
【内容】わが国の水稲収穫作業では、刈り取り・脱穀・選別の機能を一台に兼ね備えたコンバインが広く用いられています。本実習では、コンバインと収穫後の乾燥調製作業機器の構造について、講義と実習を通して学ぶと共に、コンバインの操作を体験します。また脱穀・籾摺り調製など、水稲の調製に関する一連の作業を実践し、イネの収量構成要素に関する理解を深めます。

【講義】農業機械システム学概論
【実習】農業機械操作実習
【担当】柏嵜 勝
【内容】現在の農業(食料生産業)では生産量、生産効率および生産品質の観点から農業機械システムの利用が不可欠となり、データ集積型産業に生まれ変わりつつあります。本実習では、最新の農業機械や生産支援システム、さらに生産現場から得られるデータの利活用の実際を説明して食料生産の現在から将来を俯瞰し、実際の農業機械(トラクタ)を操作する実体験によって実践的に学びます。

【講義】園芸生産の科学
【実習】果樹収穫・調製実習
【担当】池田 裕樹
【内容】野菜や果物などの園芸作物は、私たちの豊かで健康な生活には欠かせません。わが国では多種多様な園芸作物が全国各地で栽培されており、生産現場では緻密な栽培管理や収穫・調製作業が行われています。本実習では、講義や果樹園での栽培管理や収穫、調製などの作業を通じて、高品質な園芸作物がどのように生産されているのかを実践的に学びます。

【講義】世界の地産地消と食文化
【実習】農産物を活用した調理の実践と試食・評価

【担当】音羽 香菜・長尾 慶和・池田 裕樹
【内容】世界の地方産業は、農業を中心に成り立っています。そのため地方創成を達成するには、地域の風土に根ざした農業の実践とともに、地域で得られる農産物を活かした特産品と食生活、およびその継続と蓄積により培われる食文化に関する理解が不可欠です。本実習では、わが国と世界各地で培われてきた食文化、およびその中で農業が果たしてきた役割について、宇都宮を拠点に活躍する食のスペシャリストから実践的に学びます。

【講義】青果物のフードシステムと流通の科学
【実習】宇都宮市中央卸売市場の見学
【担当】神代 英昭・池田 裕樹
【内容】現代の日本では、高品質な農産物・食品が年間を通じて消費者に供給されています。特に青果物は、南北に長くて標高差があるという日本の地形や、それによる気候の違いを活用し、旬の異なる様々な地域で栽培されているとともに、それを輸送する生産・供給の体制も確立しています。本実習では、青果物が流通する仕組みについて学ぶと共に、青果物流通の中枢である中央卸売市場を見学します。

【講義】生殖科学概論
【実習】生殖科学実験
【担当】長尾慶和
【内容】バイオテクノロジーは、今や私たち人間が社会生活を営む上でなくてはならない存在であり、英国におけるクローン羊"ドリー"の誕生をはじめ、畜産分野や医学分野への応用も盛んです。本実習では、家畜の世界で実用化され、ヒトの高度生殖補助医療技術としても活用されている様々な生殖科学技術について知識を深めます。その上で、ウシの卵子、精子あるいは受精卵（胚）を材料とした体外受精や顕微授精などの生殖科学実験を実施し、体験的に理解を深めます。

参加費用：①コース　②コース　10,000 円
（実習費 5,000 円、宿泊費 1,160 円、食費他 3,840 円）
③コース　18,000 円
（実習費 10,000 円、宿泊費 2,000 円、食費他 6,000 円）
※集合場所までの交通費は除く

応募方法：宇都宮大学附属農場教育関係共同利用拠点ＨＰより申込書をダウンロードし、必要事項を記入の上メールに添付してお申し込みください。
https://agri.mine.utsunomiya-u.ac.jp/hpj/deptj/farm/uuf_kyoten/otoiawase.html

申込締切：7月1日（火）

受講許可：受講の可否について本人にメールで通知します。

問合せ先：〒321-4415　栃木県真岡市下籠谷443　宇都宮大学農学部附属農場
TEL：0285-84-2424
Email：fuznoujy@a.utsunomiya-u.ac.jp

受講にあたっての注意事項：

風邪の症状、発熱、倦怠感など体調に異変を感じた場合は、無理せずキャンセルしてください。

※キャンセル連絡先：宇都宮大学農学部附属農場事務
TEL：0285-84-2424
Email：fuznoujy@a.utsunomiya-u.ac.jp

実習における感染症拡大防止対策について：

①実習開始前に検温を行います。体温異常（37.5 度以上）が検知された場合は受講できません。

②消毒液を用意いたしますので、適宜手指の消毒を行ってください。

③屋内での講義の場合、担当教員の指示に従って距離を開けて着席してください。

その他特記事項：

○持参物

作業着（汚れてもいい服）、帽子（熱中症対策）、手袋（軍手等）、筆記用具、健康保険証またはそのコピー（必要な方は常備薬）、宿泊グッズ　など

○食事

昼夜については仕出し弁当を用意します。朝についてはパン等を用意します。

○宿泊施設

原則として附属農場内の学生宿泊施設を利用します。

○参加費用

初日に現金で集金します。お釣りのないよう準備してください。